

# 第2回 令和6年能登半島地震調査・支援活動報告会

## 支援活動報告②

### 報告6 能登半島地震被災生徒に対する学びの支援

#### 「避難中学生学習支援・保健室支援活動報告」

人間社会研究域学校教育系

土屋明広

# 1. 支援活動の概要

2024年1月1日 能登半島地震発生

1月中旬～3月

輪島市、珠洲市、能登町

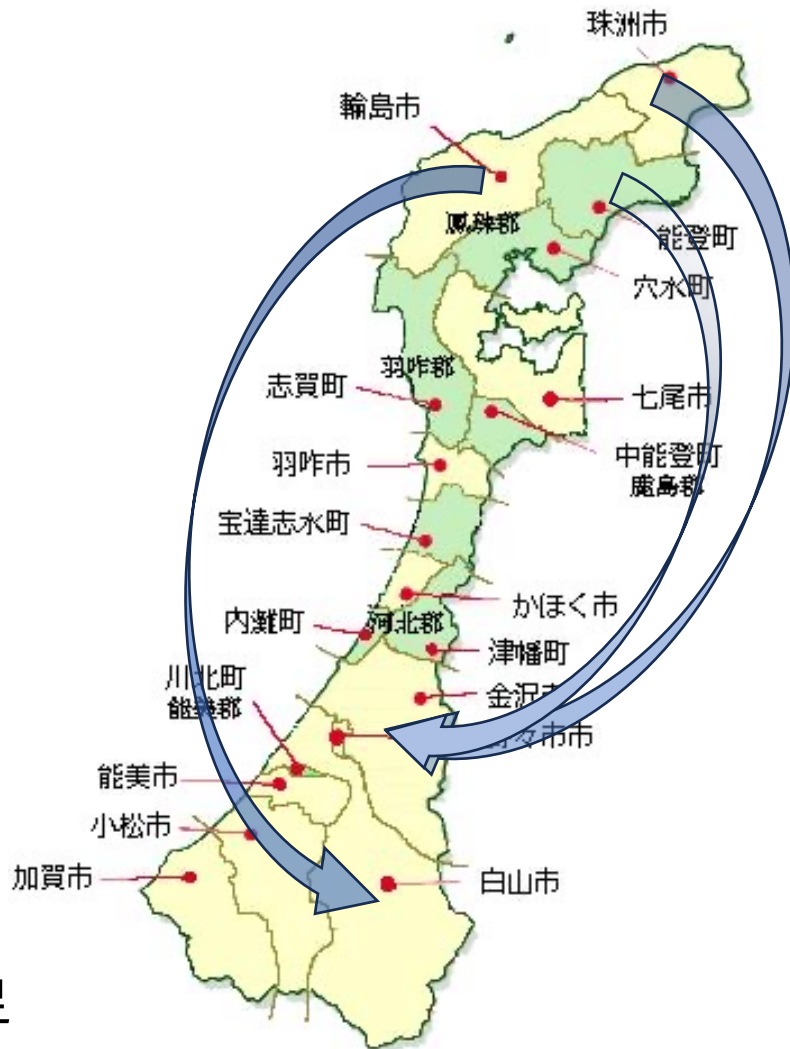
公立中学校生徒(希望者)

白山市、金沢市での集団避難・集団生活

**学習支援、心・身体への支援**

石川県教育委員会と協議(ニーズ調査)

学校教育学類内に支援チーム発足



地図出典:石川県

## 2. 支援活動の内容

### (1) 学習支援

対象：白山市に集団避難してきた中学生(3カ所)

活動期間：2024年2月14日(水)

～3月21日(木)

(土日祝日、イベント日を除く毎日)

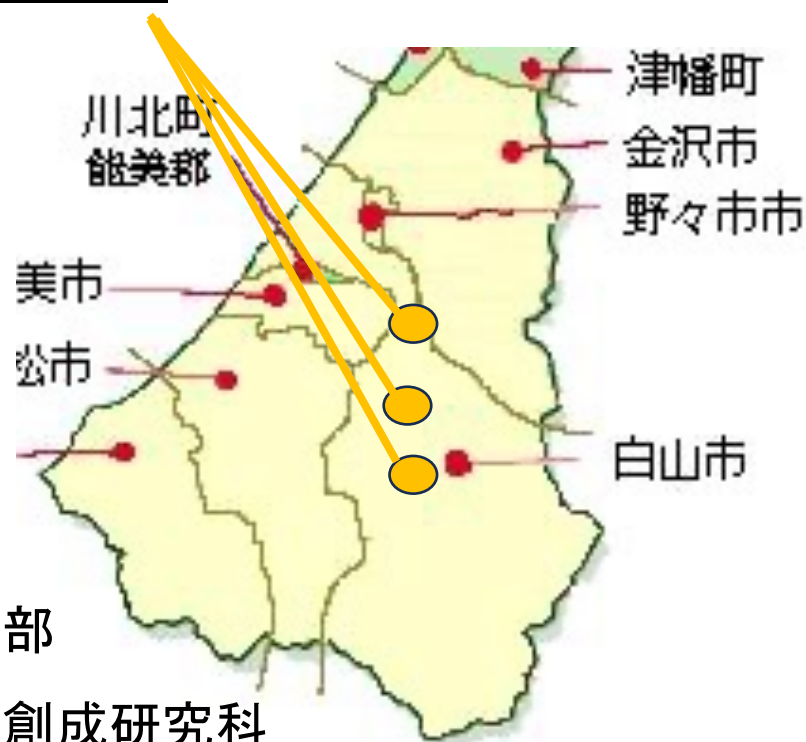
参加学生：32名(のべ112名)

所属：人社学域、理工学域

医薬保健学域、総合教育部

自然科学研究科、新学術創成研究科

教職実践研究科



地図出典：石川県

## 活動内容:①学習支援

授業補助  
実験補助  
受験対策等

## ②交流活動

・休み時間、給食時間における交流、  
スポーツ等



広報戦略室

## (2) 保健室支援

対象：金沢市に集団避難してきた中学校6校合同の保健室（1カ所）

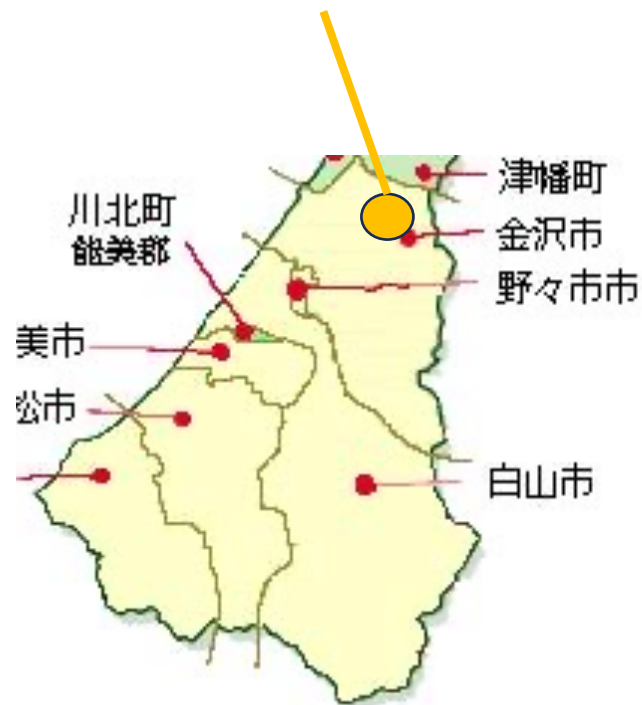
活動期間：2024年3月4日（月）～3月19日（火）

（土日を除く毎日）

参加学生：6名（のべ18名）

**養護教諭特別科生**

看護の専門的知識と技能を持つ学生



地図出典：石川県





## 活動内容: ①学校保健活動の支援

- ・救急処置対応の補助
- ・環境衛生活動  
感染症まん延防止のための換気、  
手洗い石けんの補充、施設消毒等
- ・心の健康に関する掲示物・お便り作成

## ②交流活動

- ・休み時間、スポーツ等による交流

### 3. 今後の支援活動に向けて

被災地の状況とニーズに即して、以下の活動を検討している。

①子どもの学習環境とニーズ把握のための調査

②子どもの学びと育ちを支援するための学生ボランティア派遣

③学校・避難所への健康支援活動

:健康関連掲示物・健康だよりの作成と送付

④活動支援のための各種ガイドライン作成

:ボランティア学生向け、派遣教員向け、受け入れ教員向け

など

**ご清聴ありがとうございました。**



# 能登半島地震被災生徒に対する 学びの支援： 高校生



轟 亮

(人間社会研究域・  
人文学系)

第2回調査・支援活動報告会

2024年4月21日

# 石川県資料から

## ○被災地外に避難している高校1・2年生を対象とした学習機会の確保

金沢大学と連携して学習の場所等を提供し、学習機会の確保を図る

- ・ **対象** 奥能登2市2町の県立高校に在籍し、被災地外に避難している高校1・2年生
- ・ **期間** 2月2日(金)～3月15日(金)の平日9:00～15:00
- ・ **場所** 石川県文教会館
- ・ **内容** 在籍高校のオンライン授業又は自習  
高校教員による対面授業（月・水・金の午後）
- ・ **その他** 金沢大学が運営を補助（学生ボランティアの活用、昼食・飲料の提供など）

石川県 第36回災害対策本部員会議(2/13)資料 p.63

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/saigai/202401jishin-taisakuhonbu.html#honbu>

# 50～70名が登校する場

- **会場の提供**：文教会館4階・会議室  
学習室2室（学年ごと）→2/26～3室へ（学校ごと）  
教員控室1室
- **ボランティア学生（SA）の派遣**  
水金の週2日、計9日間 → 8日間（先方の事情）  
2名の要請 → 2/14～4名体制
- **器材**：無線LANルーター、充電バッテリー、プロジェクター
- **昼食・飲み物など**



# 学生ボランティアの活動

高校教員や指導主事の指示の下で

- 生徒の出席、早退、一時外出等の確認・記録
- 弁当、飲み物などの配布、食後のゴミの始末
- 学習室の静粛の維持
- **学習内容の質問対応**
- 学習環境等について大学に**状況報告**、**改善提案**  
(例) 教室を3室に(各校の時間割から必要)、飲み物の種類...

# 活動の様様



金沢大学

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/news/138493>

<https://www.instagram.com/kanazawauniv/reel/C3o9CvWhCaQ/>

テレビニュース(公開されているもの)

[https://www.youtube.com/watch?v=\\_OIT0QD7KE0](https://www.youtube.com/watch?v=_OIT0QD7KE0)

<https://www.youtube.com/watch?v=YVZGRGKgS-U>

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kanazawa/20240214/3020019037.html>

# 経緯

1月21日(日) 知人の高校長から現状と要望を聞き、人間社会学域長にメールで相談

22日(月) 午前 域長に校長と轟から説明、域長から学長に説明

校長から教育長に説明

23日(火) 人文学類チーム組織、校長とオンライン・ミーティング。事務担当決定

26日(金) 県教育委員会から正式な支援要請が大学に

各種調整、手配など

2月1日(木) 「学びの支援「高校生」が先行実施予定、7日から派遣希望」の連絡

2日(金) 文教会館での学習開始

7日(水) ボランティア活動初日、slackを用いた学生からのフィードバック収集

14日(水) ボランティア活動3日目、マスコミ取材

15日(木) 教育・ひとづくりWGで報告

21日(金) この週、月水金の午後の対面授業がなくなる(2/14 学校再開と関連)

26日(月) 以降、午前午後が各校からのオンライン授業に

...

3月15日(金) 文教会館での学習支援終了

# ボランティア参加学生（19名）

人文学類	2年	2名
	3年	7名
	4年	4名
数物科学類	3年	1名
人間社会環境研究科前期課程 （人文学専攻）	1年	2名
	2年	2名
自然科学研究科前期課程 （地球社会基盤学）	1年	1名



# 学生へのインストラクション

- ボランティア登録（ボランティア保険加入）
- 経済学経営学系・武田公子先生作成の「災害ボランティアの心得・準備」（金大動画）
- 学校教育系・原田克巳先生作成の「学習支援ボランティアに携わる際の留意点」（ファイル及び金大動画）：心理学的な支援のポイント
- 轟、荒木友希子先生（人文学系）作成の「金沢大学・被災高校生への「学びの支援」学生ボランティア業務の概要」

# 考察・知見

- **迅速な意思決定**（組織論）
- **変化する現場でのニーズをとらえ、随時反映**
  - 学生ボランティアの役割は貴重（適切な配慮、率直な感想・提案、現場ニーズの把握） slackの活用
  - 学生、事務部、大学教員間の連携・協力関係
- 高校生にとって「**集まる場**」「**友だちに直接会える機会**」として効果
- 被災者である**高校教員への支援**も重要
- 複数校（多様性）を対象とする複雑さ
- **プッシュ型支援の難しさ**：「先方」の意向

# まとめ

急性期において被災高校生へ学習環境（場所及び物的・人的支援）を提供し、学びの継続を支える活動。1月21日に現地高校長より支援要請の一報があり、学長の指示を受けて人間社会学域、人文学類教員において体制を検討し、1月26日に県教委から高校生の学びの場確保の正式要請がありました。高校生の学びの場として文教会館の借用を2月1日から開始、高校生の学習（遠隔・対面授業及び自習）は2月2日から開始しました。

教育・ひとづくりWGにおいて調整が図られました。

本学は施設借上の他、弁当・飲料、プロジェクタ、モバイル電池等も提供しました。学習支援のための学生ボランティアを募り、必要なインストラクションを実施した上で、週2回ずつ4名程度を派遣しました。当初要請された期限の3月15日に文教会館での学びはいったん終了しました。現在、春休み及び新年度にどのような形での支援が必要であり可能なのか、事務部と県教委の間で打ち合わせしています（以上、3/21時点での報告）

→新学期から内灘高校にて、機材等の支援を実施